

## 人工脳波念力による天気コントロール実録

以下の資料は、梁蔭全とその弟子が中国の SNS ソフト WECHAT で対話したものです。内容は日本熊本大地震の後、天気により救援活動に支障をきたさないように、梁蔭全が人工脳波念力により、地震の影響を受けた熊本と大分などの地域の天気をコントロールした記録です。

1. 熊本地震は、2016年（平成28年）4月14日21時26分（日本標準時）以降に熊本県と大分県で相次いで発生した地震である。震央が熊本県上益城郡益城町、震度7級、震源の深さ12km、Mマグニチュード7.3。前震、本震と余震が九州各地に大きな被害をもたらした。
2. 天気コントロールに関する情報記録

### (1) 気象庁の4月16日発表の天気予報



図1

図2

図3

図1：日本 YAHOO 天気が2016年4月16日14:07に発表した翌日熊本地域の暴風警戒予報。

図2：日本 YAHOO 天気が2016年4月16日17:00に発表した天気予報。

図3：図2の部分の拡大イメージ。

結論：気象庁の16日の情報から見れば、翌日17日に熊本地域の降水確率が100%でした。

### (2) 天気コントロールに関する対話記録

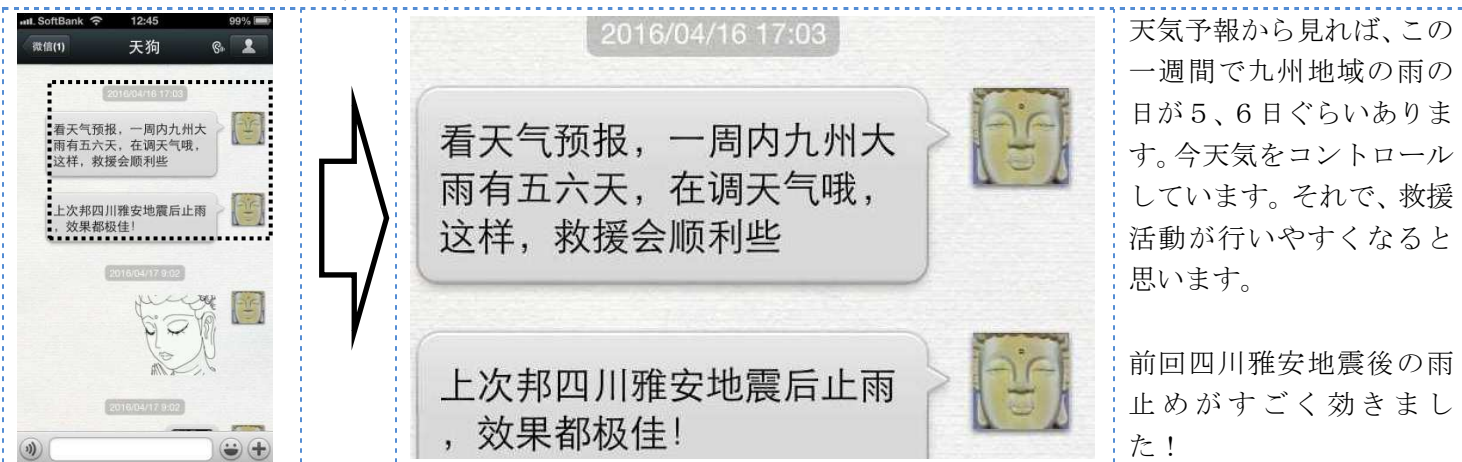


図4

図5

左の中国語の翻訳

梁蔭全が天気コントロールのことを発言した時点は2016年4月16日17:03です。それは、気象庁が天気予報を発表した3分後のことです。図5は図4の部分の拡大イメージ。

天気予報から見れば、この一週間で九州地域の雨の日が5、6日ぐらいあります。今天気をコントロールしています。それで、救援活動が行いやすくなると思います。

前回四川雅安地震後の雨止めがすごく効きました！